

伸びのびトーク

in 智頭町



令和8年2月23日、「未来につなぐ智頭農林業の新たな挑戦」をテーマに町内事業者等(智頭町複業協同組合、合同会社MANABIYA、ちづルバーブの会、light diverse(ライトダイバーズ))、平井知事、金兒町長が意見交換しました。

この意見交換会をきっかけに鳥取県とさらに連携を深め、本町の農林業の更なる発展に繋がっていくことが期待されます。

町内事業者等の主な発言

智頭町複業協同組合(星野大輔さん・中村龍威さん)

林業と他産業を掛け合わせ働くマルチフォレスターの取組を全県に広げたい

合同会社MANABIYA(國岡将平さん)

目先の利益よりも、長期的な社会・環境の総合的な利益を優先できる智頭林業を実現したい

ちづルバーブの会(西尾健次さん)

生産体制の強化と若者視点の情報発信でルバーブを智頭の代表的な特産品にしたい

light diverse(林健太郎さん)

捨てられてきた命(鹿肉)を町の産業にし、ジビエを田舎の希望にしたい

金兒町長の言葉

それぞれの団体や組織だけではできることも限られてしまうため、何かできそうなことを一つの塊になって大きく起こしていければと思う。

平井知事 激励の言葉

皆さんの取組が進化していることに驚いた。一つのモデルとして中山間型のクラスターができる。成果を土台にすればきっと花開く町だと確信した。